

福島県矢祭町調査の様様

博士前期課程2年 教育学専攻

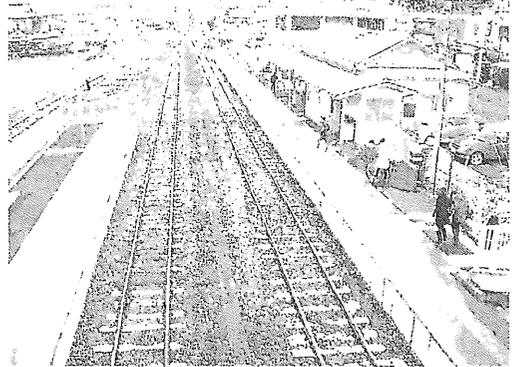
呂 青 青

矢祭町は、福島県の最南端の町であるが、わたし個人にとっては、日本での留学中に行ったことのある場所のうち、もっとも北のところである。また、もっとも小さな町でもある。

少し雪の積もっている寒い冬の朝、およそ3時間かけて、列車を乗り換え、ようやく矢祭町に着いた。



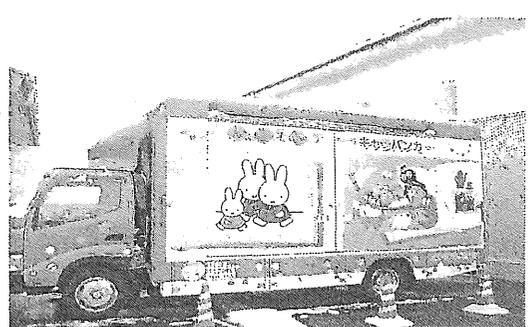
水戸駅から水郡線に乗り換え。空いていた。



東館駅で降りる。静かな駅だった。



矢祭もったいない図書館は、駅前にある。



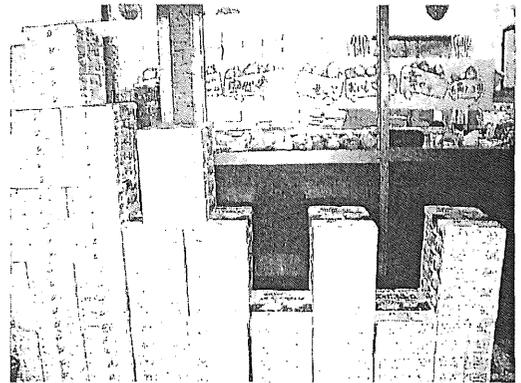
図書館にはキャラバンカーがある。



全国から寄付された40万冊以上の本が並び、読者を迎えている。



東館駅周辺の食事処で昼食。



いちご農家では試食や直販もしている。



別れの時、都会の人には想像できないくらい静かな時間の流れる駅前立って、「頑張れ、矢祭！」と言いたかった。

(写真はすべて筆者撮影)